



2025年度 首長・議員懇談会報告

みやぎ生協・コープふくしまは、宮城県、福島県の首長、宮城県議会議員、仙台市議会議員と地域のメンバー（組合員）が年に1回懇談会を開催しています。
2025年度の開催状況を報告します。

懇談一覧

	開催数 (昨年)	開催地域 (開催順)	参加者数(人)	
			生協メンバー (昨年)	首長・議員数 (昨年)
首長懇談	39(37)	(宮城県) 涌谷町、七ヶ宿町、大河原町、加美町、名取市、丸森町、大衡村、東松島市、利府町、白石市、村田町、亘理町、柴田町、大和町、角田市、岩沼市、色麻町、多賀城市、富谷市、気仙沼市、大崎市、石巻市、栗原市、大郷町、登米市、仙台市、松島町、女川町、山元町、南三陸町、七ヶ浜町、塩釜市、美里町	149(133)	38(37)
	宮城 33(31)		宮城 136(119)	宮城 32(31)
	福島 6(6)	(福島県) 白河市、郡山市、福島市、三春町、石川町、南相馬市	福島 13(14)	福島 6(6)
宮城県議懇談	7(7)	加美、宮城野区、泉区、大崎、青葉区、太白区、若林区	99(102)	14(17)
仙台市議懇談	5(5)	宮城野区、泉区、太白区、青葉区、若林区	99(126)	23(26)
計	51(49)		347(361)	75(80)

[主な懇談内容]

〈仙台市長懇談会〉

宮城県仙台市 1月30日 仙台市役所 郡和子市長
みやぎ生協 冬木勝仁理事長、河野雪子副理事長、柴崎系生活文化部部长、石垣八重美理事、佐藤淑子理事、信山澄栄理事、安達泉理事、齋藤裕美理事、小川浩美理事、恵津順美理事、清藤朋子理事、辻村優子理事



市は、今年度から長町・利府線断層帯地震の被害想定に基づき、地震火災による被害の軽減対策としての感震ブレイカーの普及啓発に取り組んでおり、該当地域の生協店舗では啓発活動に協力しています。またメンバー活動の中でも防災学習会など市と協働で取組んでいます。

〈福島市長懇談会〉

福島県福島市 1月29日 福島市役所 馬場雄基市長
コープふくしま 河野雪子副理事長、岡崎香織理事、菅野優子理事、組合員3人



昨年度の首長懇談の時のお話いただいた、「ふくしま大粒納豆」が2月7日に発売となり、「納豆のまち福島」を盛り上げていくことを確認しました。包括連携協定も締結しましたので、さらに今後一緒に力を合わせて何ができるのか、具体的な話を進めていきたいと考えています。

〔主な懇談内容〕（開催月日順）〈首長懇談会〉宮城県、福島県の首長・宮城県議・

〈宮城県〉

涌谷町 10月28日 涌谷町役場 大崎俊一副町長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、柴崎系生活文化部部长、及川しのぶ理事、メンバー7人



水害防災訓練と原子力防災訓練の合同訓練として、中学生にも避難所運営に参加をしてもらうため涌谷中学校で開催しました。1,3年生を対象に居住地区防災教育にも力を入れ、避難所や防災用機材の確認も行っています。

大河原町 11月13日 大河原町役場 齋清志町長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、佐藤久美子理事、メンバー3人



自前の伏流水を持っており、地区によっては供給できる環境にあります。防災体制強化のために防災士資格習得補助、県防災指導員養成講習会実施やフォローアップ講習会の開催をしました。自主防災組織への補助や小中学校への防災担当職員の講師派遣など積極的に取り組んでいます。

名取市 11月17日 名取市役所 山田司郎町長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、清藤朋子理事、メンバー7人



市のポータブルアプリ「ナトぼた」は、デジタルツールを積極的に活用し情報発信をしています。今年は、クマ出没情報にも活用しました。津波警報が出された際は、目につきやすい場所に避難所マークの掲示や指定避難所や指定緊急避難場所の周知に努めています。

大衡村 11月21日 小川ひろみ村長
みやぎ生協 尾川輝敏専務理事、信山澄重理事、メンバー3人



災害時における応急生活物資の供給協定を締結している自治体と年1回物資手配訓練をしています。行政区ごとと村全体での総合防災訓練を実施しています。小学5年生と中学2年生を対象にマイタイムラインの作り方等の防災学習を実施しています。

利府町 11月27日 利府町役場 熊谷大町長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、石垣八重美理事、菊地由香里理事、メンバー2人



防災情報を確実かつ迅速に発信するために防災アプリ「まもりふ」の普及に注力しています。11月25日現在2,174人が登録をしています。更なる普及を目指し各種防災訓練、防災イベント等で周知活動を行っています。

七ヶ宿町 10月30日 七ヶ宿町役場 小関幸一町長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、佐藤久美子理事、職員



例年になく熊の出没によりキャンプ場の利用者は減少しています。安全のために常にパトロールを行っています。町内に猟銃許可を持っている方は7人います。他にこ〜ぶの森観察会やファミリーマート+COOP七ヶ宿店の営業状況についても懇談しました。

加美町 11月14日 加美町役場 石山敬貴町長
みやぎ生協 柴崎系生活文化部部长、及川しのぶ理事、メンバー5人



県内で唯一の加美町独自の防災アプリ「HAZARDON」を作成し、災害時の緊急情報や防犯に関する情報、野生鳥獣の出没情報などを町民に発信しています。26年度は、災害に備えるべく危機管理課として自衛隊の専門家を派遣していただく予定です。

丸森町 11月18日 丸森町役場 保科郷雄町長
みやぎ生協 尾川輝敏専務理事、佐藤久美子理事、メンバー2人



国と連携し、災害時の活動拠点となる河川防災ステーションの整備を進めています。毎年防災訓練を行っており、8月31日には県と総合防災訓練を実施しました。行政区ごとの訓練も町で支援を行っています。自助・共助を進めていながら取り組んでいます。

東松島市 11月25日 東松島ハーモニー 渥美巖市長
みやぎ生協 尾川輝敏専務理事、佐藤ひで子理事、メンバー2人



住民の防災意識向上のため市報、HP、登録メール、ライン等を通じ情報発信を行っています。マンホールトイレは、防災訓練、小中学校の運動会、産業祭において実際に設置、使用をする等を市民に周知しているところです。課題は市内避難場所に整備したトイレ建屋等を行政側指導から地元使用者が主体となる体制づくりに進めています。

白石市 12月2日 白石市役所 山田裕一市長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、佐藤久美子理事、メンバー3人



毎年6月に住民総参加の総合防災訓練を実施しています。補助金交付事業、防災指導員養成講座やフォローアップ講座の開講などにより防災意識の高揚を図っています。市の地勢に適した防災行政無線の整備を進めています。

仙台市議とメンバー・組合員が懇談し、よりよい地域づくりにつなげています。

※首長名とみやぎ生協参加者名は懇談時点のものです。

村田町 12月12日 村田町役場 大沼克巳町長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、佐藤久美子理事、メンバー5人



防災読本、ハザードマップを全戸に配布。町の情報をSNSで発信するとともに東日本放送と提携し町の情報をテレビのdボタンで確認できるようにしています。防災訓練では、自助・共助・公助の役割を理解し、相互の協力体制が確立できるよう継続して実施していきます。

亘理町 12月17日 亘理町役場 山田周伸町長
みやぎ生協 白井幸子理事、メンバー4人



災害に強いライフラインを目指して下水道事業を進めています。亘理郵便局と協定を締結し道路損傷等発見の際は連絡をいただいています。公式ラインを活用し不都合通報にも取り組んでいます。防災出前授業では防災意識を高める機会としていただきたいと思います。

柴田町 12月17日 柴田町役場 滝口茂町長
みやぎ生協 柴崎系生活文化部部长、佐藤久美子理事、メンバー4人



住民の不安解消と被害軽減のため自助・共助・公助の連携強化の重要性の周知に注力しています。垂直避難を含む避難行動の周知徹底や地域内の避難支援体制の必要性を考慮し防炎出前講座の開催を積極的に行っています。

大和町 12月17日 みやぎ生協大富店 浅野俊彦町長
みやぎ生協 尾川輝敏専務理事、信山澄重理事、メンバー9人



行政区では自主防災組織の設置、防災訓練に取り組み、研修会や年1回の活動報告を実施しています。今後も住民主体の組織との連携を深め、町全体の防災力の向上を図ってまいります。年度末には、災害時トイレカー2台の配備を予定しています。

角田市 12月23日 角田市役所 黒須貫市長
みやぎ生協 柴崎系生活文化部部长、佐藤久美子理事、メンバー2人



防災情報や防犯情報などを発信する「角田安全・安心メール」の登録数は5,120件あり、そのうち電子メールでの登録は4,954件、固定電話での登録は166件あります。令和8年からは天気予報なども見ることができるようアプリも開発しています。

岩沼市 12月23日 岩沼市役所 佐藤淳一市長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、白井幸子理事、メンバー6人



災害情報は防災無線、ラジオ、HP、メール、テレビトップでの発信。本年度から県の「みやぎ防災」アプリの導入も進めており避難所での受付機能などを有効活用するため市民ヘインストールをお願いしています。避難経路の確認や備えもお願いしています。

色麻町 12月24日 色麻町役場 鶴谷康副町長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、及川しのぶ理事、メンバー4人



令和7年に地域防災計画を改定し、町民の生命、身体、財産を守るために防災対策を推進しています。また、人口減少のため、災害時の共助も難しくなっています。2年に1回全町内で防災訓練を行い備蓄品の確認をしつつ避難所運営についても検討をしています。

多賀城市 1月13日 多賀城市役所 深谷晃祐市長
みやぎ生協 尾川専務理事、菊地由香里理事、石垣八重美理事、メンバー3人



防災無線やSNSなどを活用して情報発信をしましたが、すべての方に知らせることは難しく課題となっています。今後もラインやHP、KHB閲覧などを使って情報発信をしていきます。平成28年～令和7年までに雨水貯蓄タンクの設置は78件ありました。

富谷市 1月15日 富谷市役所 武内浩行副市長
みやぎ生協 尾川輝敏専務理事、信山澄重理事、メンバー12人



県と共催し防災指導員養成講習・フォローアップ講習を実施し地域防災リーダーを育成しています。また、防災を「自分事」として捉えてもらうため、中学生が運営者として主導する訓練や町内会と連携した防災活動を実施しています。地域防災の担い手育成を図っています。

気仙沼市 1月16日 気仙沼市役所 菅原茂市長
みやぎ生協 國久暁常勤理事、目黒純栄理事、メンバー5人



小中学校や自治会等で防災講座を実施しています。防災士養成講座を開催し地域防災力の向上に努めています。今年度は津波発生時の避難支援のため津波避難誘導標識及び指定避難場所表示看板等を13か所に設置します。

〔主な懇談内容〕（開催月日順）〈首長懇談会〉宮城県、福島県の首長・宮城県議・

〈宮城県〉

大崎市 1月16日 大崎市役所 伊藤康志市長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、及川しのぶ理事、メンバー7人



令和6年4月より市公式ラインを活用し、住民向けの「防災ポータル」による情報発信を開始しています。昨年は災害時に必要な情報収集や避難行動の確認を体験形式で行う「デジタル防災訓練」のメニューを追加し防災意識向上に努めています。

栗原市 1月20日 栗原市役所 佐藤 智市長
みやぎ生協 尾川輝敏専務理事、目黒純栄理事、メンバー4人



災害時はKHBのd放送によるテレビ回覧板でも情報発信し防災行政無線が聞こえない700戸に戸別受信ラジオを設置しました。今年度はクマ出沒による防災無線が328回放送され電話応答サービスも利用増です。小学校にはフェンスを設置し市民の安心安全を守っています。

登米市 1月21日 登米市役所 熊谷康信市長
みやぎ生協 柴崎系生活文化部部長、目黒純栄理事



原子力災害が発生した場合、市のマニュアルや県との調整により避難対象地区および避難所が決まる計画です。原子力災害に備え県や関係機関と連携し毎年訓練を実施しています。参加者には災害時の行動や放射線に関する正しい知識を持つための学習会を開催しています。

女川町 2月10日 女川町役場 丹野相治副町長
みやぎ生協 佐久間浩之生活文化部課長、佐藤ひで子理事、メンバー5人



地域ごとのマニュアルを作成し各世帯に配布しています。避難所の設置にあたっては行政区ごとに自主的に運営をしています。原子力災害が発生した場合は、全町民が栗原市へ避難をするため、11月にバスでの訓練を実施しました。

南三陸町 2月26日 南三陸町役場 千葉 啓町長
みやぎ生協 佐久間浩之生活文化部課長、目黒純栄理事、メンバー3人



災害時は、登録制メールに加え2月からは公式ラインを配信予定です。県には、原子力災害が発生した場合、町内の避難該当地区に対し広域避難としての避難先の調整を要望中です。また避難する際の情報収集のためにも原子力アプリの普及促進をしています。

石巻市 1月19日 石巻市役所 齋藤正美市長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、佐藤ひで子理事、メンバー13人



石巻市津波避難計画を策定し、高台や高い建物への上階避難と徒歩避難を原則とし出前講座等で周知をしています。東日本大震災発生時の3月11日を含む1週間を防災週間とし市民に防災知識を周知する防災フェアの開催や自主防災会の活動への補助金交付などを行っています。

大郷町 1月21日 大郷町役場 石川良彦町長
みやぎ生協 柴崎系生活文化部部長、菊地由香里理事、メンバー3人



災害時の防災無線等が流れたら情報を得た住民から近所や知人への発信のお願いと、耳の不自由な方へは地域での連携をお願いします。平成7年にスタートした個別受信機は、9割の世帯に貸し出しをしています。今後も周知をしていきます。

松島町 2月9日 松島町役場 櫻井公一町長
みやぎ生協 柴崎系生活文化部部長、菊地由香里理事、メンバー2人



災害時は、防災無線、各種SNS、Lアラート、テレビ回覧版、県デジタル身分証アプリなどで発信していますが、住民への認知度の向上、高齢者等への確実な情報伝達などが課題です。継続的な周知活動と日常的にツールを使う工夫が必要と認識し啓発活動を強化していきます。

山元町 2月10日 山元町役場 橋元伸一町長
みやぎ生協 佐久間浩之生活文化部課長、白井幸子理事、メンバー2人



災害時は、防災無線やエリアメール、公式ラインなどでデジタル事業化を進めながら情報発信をしています。町民2割の利用登録にとどまっています。以前、他市からの飛び火から林野火災発生経験があり5月には県との共同で訓練を実施しました。

塩竈市 3月9日 塩竈市役所 草野弘一産業環境部長
みやぎ生協 佐久間浩之生活文化部課長、菊地由香里理事、メンバー2人



塩竈市津波防災センターでは親子向けのワークショップを開催し、市内でも防災・減災のワークショップを開催しています。災害時は、防災ラジオ、コミュニティFM、アプリ、SNS、HPなどで緊急情報を発信しています。町内会でも防災訓練を実施しています。

仙台市議とメンバー・組合員が懇談し、よりよい地域づくりにつなげています。

※首長名とみやぎ生協参加者名は懇談時点のものです。

七ヶ浜町 3月26日 七ヶ浜町役場 寺澤薫町長
みやぎ生協 柴崎系生活文化部部長、菊地由香里理事、メンバー3人



防災無線、戸別受信機、Xやラインなどでも情報発信をしています。個別受信機の貸し出しはSNSでも発信していますが周知されていないのが現状なので店舗でのチラシ掲示や発信方法を検討していきます。防災無線の受診の有無についても地域の情報収集をしていきます。

美里町 4月20日 美里町役場 相澤清一町長
みやぎ生協 國久暁常勤理事、及川しのぶ理事、メンバー4人



原子力災害が起きた場合、町内の避難対象地区住民は小牛田小学校他8施設を避難所とし、石巻市からの避難者も行政区ごとに受け入れます。運営方法についてはマニュアルに従い運営いたします。その他、災害時物資協定の締結については今後具体的に調整をしていきます。

〈福島県〉

白河市 11月11日 白河市役所 井上賢二副市長
コープふくしま 河野雪子副理事長、金丸まど子理事、菊池浩幸ふくしま県本部長、組合員1人



白河市では高齢者世帯の見守りと生活支援(買い物支援)のため移動販売事業をしています。その事業の継続のため天神町に依頼があり、商品の提供を行うこととなりました。移動手段を持たない買い物難民やスーパーの少ない地域のための移動販売車での買い物支援など自治体と一緒に取り組むことで高齢者支援に繋がることになりました。

郡山市 1月20日 郡山市役所 椎根健雄市長
コープふくしま 河野雪子副理事長、菊池優子理事、野崎玲子理事、菊池浩幸ふくしま県本部長、組合員1人



郡山市は、働きやすい環境・子育てしやすい環境づくりをめざしているとのことで、ぜひ「すくすくばこ」の発信を市民に向けてアピールをしていきたいとお話をいただきました。さらに市長から、今後、連携の発信と連携協力ができるばとのお話がありました。

三春町 2月27日 三春町役場、坂本浩之町長
コープふくしま 野崎玲子理事、菊池浩幸ふくしま県本部長、組合員2人



震災当時の教訓も生かしながら、生協と災害時に備えるの応援物資などの提携をしたいとお話を頂きました。また高齢者・農村部の買い物難民を懸念し、宅配が命綱になると思っているとお話を頂き、今後の生協との連携に期待をしたい旨のお話を頂きました。

石川町 3月24日 石川町役場 首藤 剛太郎町長
コープふくしま 國久暁常勤理事、金丸まど子理事、菊池浩幸ふくしま県本部長、組合員3人



子育て支援は充実しており、生協としてお役立ちできることとして「すくすくばこ」の説明をしました。子ども食堂の活動の充実のため、みやぎ生協の福祉活動助成金制度について説明しました。また災害時における応急生活支援物資の供給協定の締結について要望が出されました。

南相馬市 4月8日 南相馬市役所 門間和夫市長
コープふくしま 河野雪子副理事長、菅野優子理事、菊池浩幸ふくしま県本部長、組合員3人



宅配の仕組みや内容に関心を持っていたが、特に高齢化や一人世帯へ宅配事業は適した取り組みであると評価されました。市として、安心してらせる地域のために、市民にどうやって伝えていくかなど積極的な意見交換となりました。今後具体的に連携の検討を始めることになりました。



みやぎ生協のめざすもの

わたしたちは、協同の力で、人間らしい暮らしを創造し、平和で持続可能な社会を実現します。

〈宮城県議会議員懇談会〉

加 美 11月13日 やくらい文化センター
高橋啓議員
みやぎ生協
柴崎系生活文化部部長、及川しのぶ理事、メンバー6人



県として「災害から身を守る」ためのパンフレットを作成し配布をしています。水害対策の取り組みとして、名蓋川の流域では令和4年の豪雨被害以降、計画を立て、河川改修や町道拡幅工事を進めています。

泉 区 1月16日 みやぎ生協黒松店
伊藤和博議員、小畑仁子議員
みやぎ生協
河野雪子副理事長、信山澄重理事、齋藤裕美理事、辻村優子理事、メンバー9人



災害時には必要な方へ支援が行き届くような体制づくりが重要です。県営住宅においては個人情報の関係で避難訓練に参加できない障がい者がいるので情報共有が必要になります。ポータブル電源を必要とする方などへの対応もしていきたいです。町内会のあり方や地域について懇談をしました。

青葉区 1月23日 みやぎ生協桜ヶ丘店
金田もとる議員
みやぎ生協
國久暁常勤理事、佐藤淑子理事、小川浩美理事、齋藤裕美理事、辻村優子理事、メンバー11人



県の「みやぎ防災アプリ」が災害時に役立つのか機能の構築について対応の改善を求めています。「個別避難計画」の策定率は東北6県の中で1番進んでおらず全国平均よりも低い状況はおかしいので県として具体的な支援を行うよう声をあげています。

若林区 1月26日 みやぎ生協南小泉店
三浦ななみ議員
みやぎ生協
佐久間浩之生活文化部課長、安達泉理事、メンバー17人



県内では外国人も多くなっています。簡単な単語を覚えておくことで災害時は避難所でも役に立つはず。国によってマナーも文化も異なるので普段からのコミュニケーションが大事になってきます。他に宿泊税についても懇談をしました。

宮城野区 1月7日 みやぎ生協幸町店
大池康一議員、佐々木奈津江議員
みやぎ生協
國久暁常勤理事、佐藤淑子理事、安達泉理事、齋藤裕美理事、石垣八重美理事、メンバー16人



災害時には事前に地域の現状を把握し情報共有をしておくことで次の行動につなげることができます。教員養成の一つとして防災士の資格を取得する大学があります。みやぎ生協としては、災害時でも自家発電を備えている店舗もあるので事業を継続していくことの重要性を伝えました。

大 崎 1月20日 みやぎ生協古川南店
菊地恵一議員、佐々木賢司議員、佐藤仁一議員、中島源陽議員
みやぎ生協
佐久間浩之生活文化部課長、及川しのぶ理事、メンバー17人



消防団員の確保が課題であり処遇改善も検討が必要です。蛭沢川の町側は工事は順調ですが山側は私有地のため工事が厳しい状況ですが前向きに働きかけて行きます。橋などの老朽化・補強工事についても住民の通行が不便にならないよう工事を完了を促して行きます。

太白区 1月26日 みやぎ生協太子堂店
ふなやま由美議員、かつち恵議員、わたなべ拓議員
みやぎ生協
河野雪子副理事長、恵津順美理事、清藤朋子理事、メンバー23人



震災の経験を活かすために国の防災庁を宮城県においてはどうか提案中です。女川原発の避難計画においては災害時の道路寸断の可能性について追及中です。令和8年に旧筑川に排機場ができます。普段から1次避難場所だけではなく2次3次避難場所を確認しておく必要があります。



〈仙台市議会議員懇談会〉

宮城野区

1月7日 みやぎ生協幸町店

渡辺博議員、辻隆一議員、高見のり子議員、佐々木真由美議員、大河原ふゆこ議員

みやぎ生協

佐藤淑子理事、齋藤裕美理事、石垣八重美理事、安達泉理事、メンバー16人



自分の家を第一避難所として備蓄品の準備・確認をすることが大事です。みやぎ生協のローリングストックを日常生活で意識しぐらしに取り入れ実践していくことが大切です。小中学校を避難所としている場合、学校・地域・行政が連携することで安心・安全な地域づくりになることを確認しました。

太白区

1月19日 みやぎ生協太子堂

佐々木心議員、高村直也議員、鈴木広康議員、いのまた由美議員、千葉修平議員

みやぎ生協

佐久間浩之生活文化部課長、恵津順美理事、清藤朋子理事、メンバー28人



防災は、自助、共助が大切になってきます。仙台市ではマイタイムラインの発信を行なっているので日頃から災害を意識して生活することが大切です。また、「せんだい災害VR」体験を通して防災意識を高めることも必要です。公立中学校の部活の地域移行についても関心が高く懇談をしました。

若林区

1月26日 みやぎ生協南小泉店

仁平覚子議員、猪又隆広議員、佐藤正昭議員、鈴木すみえ議員、竹中栄雄議員、吉田こう議員

みやぎ生協

國久暁常勤理事、安達泉理事、メンバー20人



避難所となる学校と連携し防災についての取り組みがあるといいのではないかと。市の出前授業を利用し知識を持つことも必要です。市はポータブル電源を必要としている家庭や個人に非常用電源費用の補助をしています。他にキックボードや自転車の交通指導や市バスの運行について懇談をしました。

泉区

1月16日 みやぎ生協黒松店

ふるくぼ和子議員、ごとう咲子議員

みやぎ生協

柴崎系生活文化部部長、信山澄重理事、齋藤裕美理事、辻村優子理事、メンバー15人



地域防災計画が改訂される予定で避難所では1人に対して今の2倍の面積が必要になるため学校以外にも市民センターなども活用していきます。避難所になる小学校にはマンホールトイレを作る予定です。避難所運営は運営委員会が行うが町内会の人々がほとんどのため人員も準備も不足しています。

青葉区

1月23日 みやぎ生協桜ヶ丘店

ごうこ正太郎議員、鎌田城行議員、すげの直子議員、村上千かずひこ議員、花木則彰議員

みやぎ生協

國久暁常勤理事、佐藤淑子理事、齋藤裕美理事、辻村優子理事、小川浩美理事、メンバー20人



震災を経験していない市職員が半分近くになっているので行政として教訓を継承することが大事だと思っています。大雨などの被害が起きないように普段から地域清掃を行い災害に備えておくことが大切でそれが地域の住民同士をつなぐことにもなります。就労障がい者の支援についても懇談しました。



COOP
みやぎ生協・コープふくしま

2025年度首長・議員懇談会のまとめ

1. 今年は、宮城では33自治体と懇談ができました。村田町とは、初めて懇談をしました。
2. 宮城では、さまざまな災害時において住民の防災意識を強めるために、情報発信手段、防災訓練、避難方法の確認や避難所運営などについて自治体と一緒にできることを話し合いました。地域によっては、原子力災害発生時の対応についても話し合いをしました。
3. 宮城と福島の数自治体で包括連携協定の締結に向けて話し合いが進んでいます。宮城県では、懇談を機に気仙沼市、大和町と包括連携協定を締結し、角田市と災害時物資協定を締結しました。福島県でも懇談を機に福島市、国見町、伊達市、桑折町と包括連携協定を締結し、国見町と災害時物資協定を締結しました。
4. 議員懇談会は、災害時の避難所方法、地域のあり方や課題について話し合いました。
5. 福島では6自治体の開催で、三春町、石川町、南相馬市とは初めて懇談し、コープふくしまの活動や事業をお知らせすることができました。
6. 福島では、子育て支援や買物支援、災害時応急物資協定締結の話題など、多岐にわたって話題がのぼり、行政と一緒に取り組めることを中心に話し合い、できるところから進めていくことを確認できました。

宮城県での懇談テーマ

「誰もが安心してらせる地域づくり」をテーマの中心において、一緒にくらしやすいまちづくりをみんなで考えました。みやぎ生協の活動を伝え、地域で共に取り組めること、くらしの向上のために連携できることを話し合いました。

1. 今年度の重点となる計画や課題をお聞きし、その上で生協としてお役立ちできることの話し合いをお願いしました。また、包括連携協定など締結している内容を確認させていただき、未締結の自治体とは締結に向けて話し合いをしました。
2. 近年、自然災害のほかにも予想外の道路陥没事故や森林火災なども発生し、私たちの安全が脅かされています。自治体の取り組みを確認させていただき、住民の防災意識を強めるために一緒にできることの話し合いをしました。
3. 「誰もが安心してらせる地域づくり」のために、自分の住むまちの良いところや地域で多くの人が困っている現状や解決して欲しい要望を伝え、一緒に力を合わせて取り組むための話し合いをしました。

※福島県では「誰もが安心してらせる地域づくり」のために、各自治体と課題や取り組みについて一緒に力を合わせてできることについて話し合いました。